

講義名	教養特講 (地理・歴史へのいざない)			授業形態	
担当教員	藤原 喜美子	開講期・曜日・時限	前期 金曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

現代社会で起こっている様々な現象や人間生活について学び、社会で活躍する際には、地理・歴史分野に関する知識が必要であり、このことは、高等学校までのカリキュラムで地歴教育(地理・日本史・世界史)が行われていることからわかる。しかし、高等教育の学習分野とその量は膨大なもので、受験科目以外は軽視されがちであり、まんべんなく十分な知識を持っていないのが実情である。知識が少くない分野は、その分野に関して新しく学び直す意欲も低くなりがちなため、この科目のみで、上述の高等教育の偏頗性を取り除くことは難しいが、幼い時の何にでも関心を持って自ら立ち回り、身近な事例や、関心を持ちやすい事例を中心に学ぶことで、地理・歴史分野について関心を持ち、学び続ける態度を養う。

到達目標

学生が、地理・歴史の分野に関する興味を見つけ、自分自身が住む地域と結び付けて説明できるようになる。

提出課題

講義では毎回、講義のテーマに関わる感想文などを記入し、小レポートとして提出してもらう。小レポートのテーマは、講義ごとに伝える。小レポートとは別に、講義に関連した指定のテーマについて、レポートの提出を求める。レポート課題の詳細は、6月の前半に、講義中の説明ならびにRYUKA portal「キャンパスクロス」の掲示を通して指示する。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

自らの講義に書いてもらった感想文の内容は、提出後の次の回の講義などで、日本の地理や歴史の事例として紹介する。

評価の基準

評価は、平常点(各回の感想文などを記した小レポート15回分、70点)、レポート(30点)を総合して行う。

履修にあたっての注意・助言他

1. 高校の『地理B』や『日本史B』の教科書は参考になる。もし、高校の時に使用していた教科書があれば読んでもらいたい。どの出版社のものでもよい。また、書店によっては、高校の教科書を販売しているので、参考にしていただきたい。
2. 予習や復習で調べた内容や講義中に大事だと思う箇所は、メモをとること。
3. 講義開始時間に着席しておくこと。
4. 講義中に私語をして、他の受講生の妨げにならないように注意すること。
5. 15回の講義の出欠管理は、各自で行うこと。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

<プリント資料>
各回毎、プリント資料を配布する。
プリント資料は無くさないように保存すること。
<参考文献>
講義中に適宜紹介する。

授業計画

講義の進め方の詳細は、第1回の講義で説明する。

- 第1回 「日本の地理や歴史」 日本の地理や歴史を知る
予習内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事例を1つ調べておく(120分)。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自が興味を持った内容(場所)を調べる(120分)。
- 第2回 「大阪の史跡」
予習内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事例を1つ調べておく(120分)。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自が興味を持った内容(場所)を調べる(120分)。
- 第3回 「奈良の史跡」
予習内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事例を1つ調べておく(120分)。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自が興味を持った内容(場所)を調べる(120分)。
- 第4回 「奈良の史跡」
予習内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事例を1つ調べておく(120分)。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自が興味を持った内容(場所)を調べる(120分)。
- 第5回 「京都の史跡」
予習内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事例を1つ調べておく(120分)。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自が興味を持った内容(場所)を調べる(120分)。
- 第6回 「京都の史跡」
予習内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事例を1つ調べておく(120分)。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自が興味を持った内容(場所)を調べる(120分)。
- 第7回 「滋賀の史跡」
予習内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事例を1つ調べておく(120分)。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自が興味を持った内容(場所)を調べる(120分)。
- 第8回 「滋賀の史跡」
予習内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事例を1つ調べておく(120分)。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自が興味を持った内容(場所)を調べる(120分)。
- 第9回 「三重の史跡」
予習内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事例を1つ調べておく(120分)。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自が興味を持った内容(場所)を調べる(120分)。
- 第10回 「三重の史跡」
予習内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事例を1つ調べておく(120分)。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自が興味を持った内容(場所)を調べる(120分)。
- 第11回 「和歌山の史跡」
予習内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事例を1つ調べておく(120分)。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自が興味を持った内容(場所)を調べる(120分)。
- 第12回 「和歌山の史跡」
予習内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事例を1つ調べておく(120分)。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自が興味を持った内容(場所)を調べる(120分)。
- 第13回 「兵庫の史跡」
予習内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事例を1つ調べておく(120分)。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自が興味を持った内容(場所)を調べる(120分)。
- 第14回 「兵庫の史跡」
予習内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事例を1つ調べておく(120分)。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自が興味を持った内容(場所)を調べる(120分)。
- 第15回 「まとめ あなたが考える近畿地方の魅力」
予習内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事例を1つ調べておく(120分)。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自が興味を持った内容(場所)を調べる(120分)。

授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア：PBL(課題解決型学習)	イ：反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他(A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

この授業は、全学共通科目の教養科目として、上記の主題と概要、到達目標の修得を通じて、本学のディプロマ・ポリシーのうち、特に次のような人材を育成することに貢献できる。

- (2)知識を知識に転換することができる、論理的思考力を持った人材
- ・課題発見・課題解決に必要な情報を集め、適切な手段を用いて収集・調査、整理することができる(情報収集力)
 - ・収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握することができる(情報分析力)
 - ・現象や事象のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定することができる(課題発見力)
 - ・さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、課題の解決に向けた道筋や取組みを明らかにした上で、具体化することができる(構想力)

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

この講義は、プリントを用いた講義形式で進める。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり。講義担当者は日本民俗学に関わる現地調査や文化財保護業務の実務経験を有しており、その実務経験を活用し、地域の特色を紹介しながら授業を行う。

備考

《受講生へのメッセージ》
この講義は、1年生のみの開講である。
大学に入学し、新たな大学生活が始まる中で、1年生の受講生の皆さんには、大学の教室や講義の雰囲気を知っていただければ有り難く思う。

地理や歴史は、現在の日本や今後の日本を考える資料になる。暗記科目ではない。
講義では、まず、大学のある周辺の特徴を知るために、「近畿地方の地理や歴史」をテーマに取り上げ、その特色を受講生の皆さんと一緒に考えていきたいと思う。
講義の内容を通して、地理や歴史について、各自の出身地に関心を持つきっかけにしていきたい。